

「さんべボランティアセミナー」

1 趣 旨

- ・ボランティア活動を始めようとする青年に、ボランティアについての学びの場を提供することで、社会の様々な場面で主体的に活動しようとする姿勢やボランティア精神を育む。
- ・先輩ボランティアやボランティアセミナーに参加した仲間とのつながりをつくることで、今後のボランティア活動への意欲を高める。

2 事業の概要

- (1) 期 日 令和元年5月31日(金)～6月2日(日) <2泊3日>
(2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家
(3) 対 象 ボランティア活動に興味のある青年(高校生, 大学生, 社会人)
(4) 参加者 大学生45名 ※募集50名 (島根大学35名,
島根県立大学出雲キャンパス7名,
島根県立大学松江キャンパス3名)
(5) 講 師 イワミノチカラ 伊藤 康丈 氏
(6) 日程・研修内容

5/31 (金)	21:15 22:00 23:00			
	受付 開講式	入浴	就寝	

6/1 (土)	6:30 9:00	12:00 13:30	17:10 19:00	21:00 23:00
	起床 つどい 掃除 朝食	講義・演習 「ボランティア活動の 意義」 「青少年教育」 昼食	プログラム体験① 「バウムクーヘン作り」 つどい 夕食 入浴	プログラム体験② 「キャンドルの つどい」 情報 交換会

6/2 (日)	6:30 9:00	12:00 13:00	15:00 16:30
	起床 つどい 掃除 朝食 退所点検	講義・演習 「救急救命法」 昼食	講義・演習 「青少年教育施設におけ るボランティア活動」 講義 「青少年教育施設 の 現状と運営」 解散

3 事業の特色

①プログラムデザインと企画のポイント

ボランティア育成ビジョンのうち、本事業は「育成の入口」にあたる。ボランティア養成共通カリキュラムを実施する上で、今後、ボランティアとして当交流の家へ継続して参加してもらえるよう、「参加者同士だけでなく、先輩ボランティアとのつながりも深めること」「当交流の家でのボランティア活動を理解してもらうこと」を大切にしている。

社会参画への意識づけのため、島根県内を中心に様々な事業所と連携して体験活動プログラムを提供しているイワミノチカラ伊藤康丈氏を「ボランティア活動の意義」の講習の講師とした。

②運営のポイント

- ・これからボランティア活動を始めていこうとしている参加者が、気づきを出し合い、効果的に学びを深めていくことができるように、グループ単位での活動を基本とすること。
- ・参加者同士や先輩ボランティアとの交流を深めるため、グループリーダーとして各班に先輩ボランティアを配置することで潤滑にコミュニケーションをとれるようにすること。
- ・活動の初めにはアイスブレイクを取り入れるようにし、参加者同士が関わり合いやすいような環境を作ること。

③広報のポイント

島根大学、島根県立大学新生対象の説明会で直接広報を行ったことで、島根県内の大学から参加者を募ることができた。

4 参加者へのアンケート結果

(1) アンケートの集計

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	92	8	0	0
プログラム	93	7	0	0
運営	92	8	0	0
講義・演習の内容	72	28	0	0
職員の対応	80	20	0	0

(2) 参加者の声

- ・とても楽しかったし、ボランティアをやる上での心得を学ぶことができ、とてもいい経験になった。
- ・本当にたくさんの人とつながることができ、自分の世界が広がり楽しかった。

5 成果と課題

《成果》

- ・先輩ボランティアや参加者同士のつながりを深めるため、関わり合えるような活動を多く取り入れた。特に参加者の様子を考慮し、アイスブレイクを多く取り入れたことによって、「本当にたくさんの人と繋がれて、自分の世界が広がって楽しかった。」「アイスブレイクがたくさんあり、他大学の人も仲良くなるきっかけになった。アイスブレイクの大切さを知った」というアンケートからや参加者の様子からも、ボランティア育成ビジョンにおける「育成の入口」として、継続的に交流の家での活動に参加をするための「つながり」を作ることができた。

《課題》

- ・参加者の約8割を占める島根大学の授業時間変更に伴い、初日の入所時間が遅くなった。1泊2日でボランティア養成カリキュラムを受講でき、かつ趣旨を達成できるよう日程及びプログラムデザインを検討する必要がある。



(担当：事業推進係員 久城 秀太)